



千葉銀行Webサイト
[IRライブラリ]



2026年3月期 第1四半期 決算の概要



2025年8月4日

牧之瀬でございます。日頃より当行をカバーしていただきまして、誠にありがとうございます。では、資料に基づきましてご説明させていただきます。

2026年3月期 第1四半期決算

業績概要	3
業績概要（連結）	4
資金利益	5
貸出金平残・利回り	6
貸出金末残・預金末残	7
有価証券①②	8-9
役務取引①②③	10-12
与信関係費用・金融再生法開示債権	13
経費	14
自己資本比率・ROE・株主還元	15
DX	16

補足資料

金利上昇影響①② （足許の取込み・金利上昇シミュレーション）	18-19
円債オペレーション	20

パーパス
一人ひとりの思いを、
もっと実現できる
地域社会にする

ビジョン
地域に寄り添う
エンゲージメント
バンクグループ

第15次
中期経営計画

エンゲージメント
バンクグループ
～フェーズ1～

計画期間
2023年4月～2026年3月



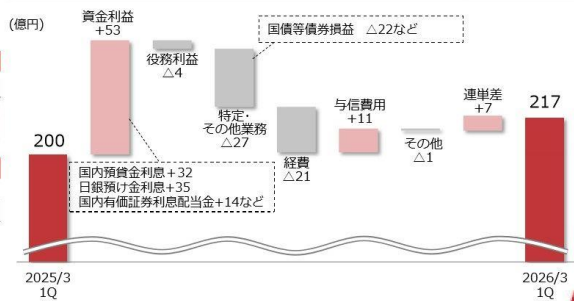
業績概要

一人ひとりの思いを、もっと実現できる地域社会にする

単体	(億円)	2025/3		2026/3	1Q	前年同期比	政策金利前提 0.5%横ばい	
		1Q	1Q				計画	進捗率
業務粗利益		510	531	21			2,081	25.5%
資金利益		435	488	53			1,752	
役務取引等利益		72	68	△ 4			315	
特定取引利益		4	0	△ 3			14	
その他業務利益		△ 0	△ 24	△ 23			△ 1	
うち債券関係損益		△ 9	△ 31	△ 22			△ 17	
経費 (△)		223	245	21			940	26.1%
業務純益 (一般貸引繰入前)		287	286	△ 0			1,141	25.0%
コア業務純益		296	317	21			1,158	27.4%
除く投資信託解約損益		285	309	23			1,146	26.9%
一般貸倒引当金繰入額 (△)		△ 1	3	5			30	
業務純益		288	282	△ 6			1,111	25.4%
臨時損益		27	49	22			105	
うち不良債権処理額 (△)		22	4	△ 17			100	
うち貸倒引当金戻入益		-	-	-			-	
うち株式等関係損益		51	54	3			202	
経常利益		315	332	16			1,216	27.3%
特別損益		△ 1	△ 0	0			△ 17	
四半期純利益		235	245	10			846	28.9%
与信関係費用 (△)		20	8	△ 11			130	6.6%
連結	(億円)	2025/3	2026/3	前年同期比			2026/3	進捗率
連結経常利益		1Q	1Q				計画	
		287	310	23			1,243	24.9%
親会社株主に帰属する四半期純利益		200	217	17			850	25.6%
(参考)								
連結業務純益 (一般貸引繰入前)		275	283	7			1,251	22.6%

- ◆ 資金利益 前年同期比 +53億円
貸出金末残 前年同期比 +5.0%
国内業務部門貸出金利回り 前年同期比 +0.26%
- ◆ 役務取引等利益 前年同期比 △4億円
法人ソリューション収益 前年同期比 +1億円
- ◆ 経費 前年同期比 +21億円 (進捗率26.1%)
- ◆ 与信関係費用 前年同期比 △11億円 (進捗率6.6%)
- ◆ 四半期純利益
単体：第1四半期として過去最高を更新 連結：同5期連続の増益

親会社株主に帰属する四半期純利益の増減要因 (単体+連単差)



Copyright © 2025 The Chiba Bank, Ltd. All Rights Reserved.

3

3 ページをご覧ください。初めに業績の概要です。資金利益につきましては、貸出金末残が前年同期比プラス 5%、国内業務部門貸出金利回りが前年同期比プラス 0.26%となったことから、前年同期比 53 億円の増加となりました。

役務取引等利益につきましては、法人ソリューション収益が増加する一方、ローン支払保険料の増加や預かり資産関連収益の減少などにより、4 億円の減少となりました。与信関係費用につきましては、1Q における新規発生が低位であったことから、前年同期比 11 億円減少の 8 億円となりました。

単体の四半期純利益は 10 億円増加の 245 億円、連結の四半期純利益は 17 億円増加の 217 億円となり、単体は第 1 四半期として過去最高、連結は 5 期連続の増益となりました。

連結	(億円)	2025/3 1Q	2026/3 1Q	前年同期比
連結粗利益		492	522	29
資金利益		391	454	62
役務取引等利益		96	92	△ 4
特定取引利益		3	0	△ 3
その他業務利益		△ 0	△ 24	△ 23
営業経費（△）		237	263	25
与信関係費用（△）		23	13	△ 10
一般貸倒引当金繰入額（△）		0	6	6
不良債権処理額（△）		23	6	△ 16
株式等関係損益		52	55	3
持分法投資損益		0	0	0
その他		3	8	5
経常利益		287	310	23
特別損益		△ 1	△ 1	△ 0
税金等調整前四半期純利益		286	309	23
法人税等合計（△）		85	91	5
四半期純利益		200	217	17
非支配株主に帰属する四半期純利益		-	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益		200	217	17
(参考)				
連結業務純益（一般貸引繰入前）		275	283	7

子会社の状況

※連結決算用に組替後のPL表示

【連結子会社】

(億円)

会社名	出資割合 (間接含む)	利益項目 (子会社間配当控除後)	2025/3	2026/3	前年同期比
			1Q	1Q	
ちばぎん証券	100%	経常利益	△ 0	△ 0	0
		四半期純利益	△ 0	△ 0	0
ちばぎんリース	100%	経常利益	2	3	0
		四半期純利益	1	2	0
ちばぎん保証	100%	経常利益	13	10	△ 3
		四半期純利益	8	6	△ 2
ちばぎんカード	100%	経常利益	1	1	0
		四半期純利益	0	1	0
その他5社 [※] 合計	100%	経常利益	1	1	0
		四半期純利益	0	0	0
9社 合計		経常利益	17	16	△ 1
		四半期純利益	11	10	△ 1

※ 2024年12月、エッジテクノロジーを完全子会社化。

【持分法子会社】

6社 合計	持分法に応じた 四半期純利益	0	0	0
-------	-------------------	---	---	---

親会社への配当(△)	46	37	△ 9
連年差 [※]	△ 34	△ 27	7

※未実現利益等の調整後

	2025/3 1Q	2026/3 1Q	前年同期比
資金利益	435	488	53
国内資金利益	400	459	58
預貸金利息	266	298	32
貸出金	273	366	93
預金+NCD (△)	6	67	60
有価証券利息配当金	119	134	14
債券	15	27	11
株式配当金	81	79	△ 2
投資事業組合	0	0	0
投信	21	27	5
うち解約益	5	6	0
その他 (市場運用調達等)	14	25	11
国際資金利益	34	29	△ 5
貸出金	81	72	△ 9
外国証券	99	93	△ 5
外国証券	80	80	0
外貨ファンド	13	10	△ 2
投信	5	2	△ 2
うち解約益	4	1	△ 3
その他 (調達、市場運用等)	△ 146	△ 137	8
資金利益 (除く投信解約益)	424	479	55
投信解約益	10	8	△ 2



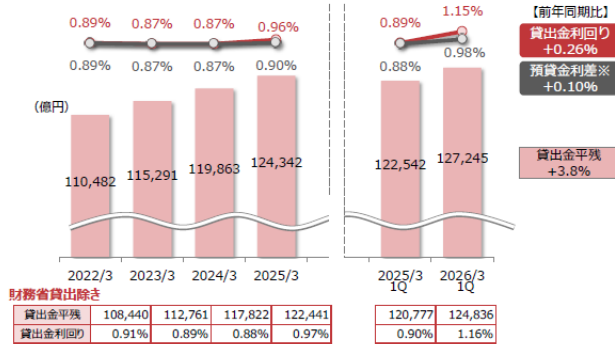
Copyright © 2025 The Chiba Bank, Ltd. All Rights Reserved.

5

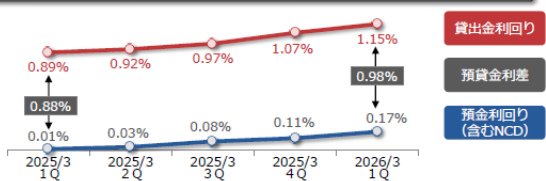
5 ページをご覧ください。国内資金利益につきましては、国内部門における預貸金利息が 32 億円増加、有価証券利息配当金が 14 億円増加、その他に含まれております日銀預け金利息が 35 億円増加することなどにより、58 億円の増加となりました。

国内業務部門 貸出金平残・利回り

※①貸出金利回り・②預金利回り(NCD含む)ともに小数点第2位未満切捨て、
預貸金利差は①②とともに小数点第2位未満切捨て後の数値を差引きし算出

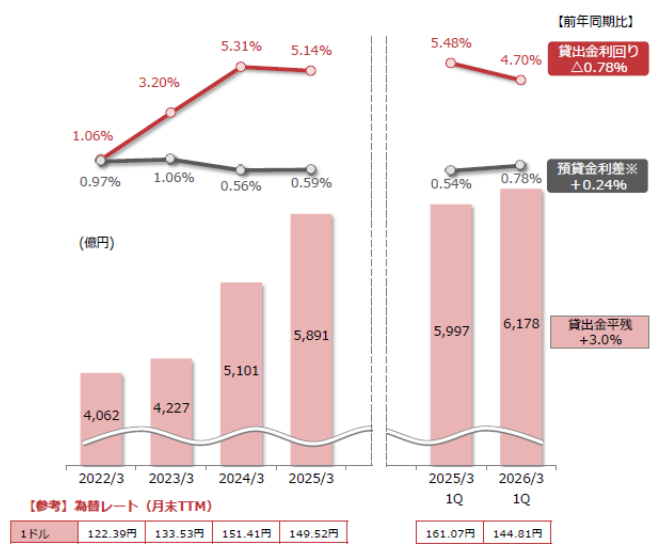


国内業務部門 預貸金利回り推移 (四半期毎)



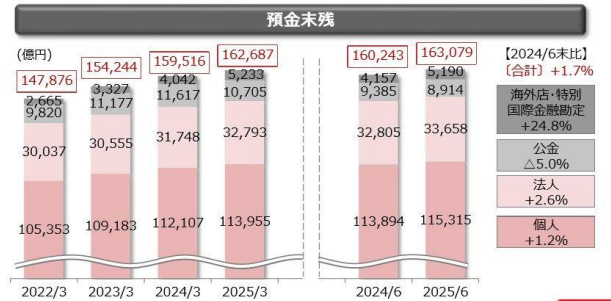
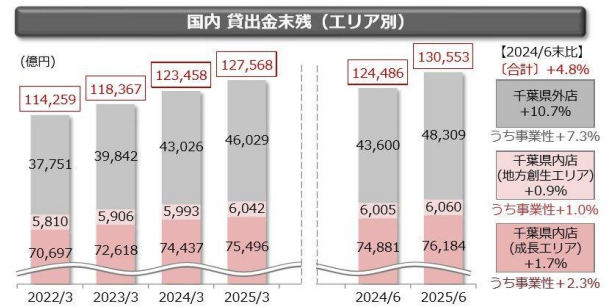
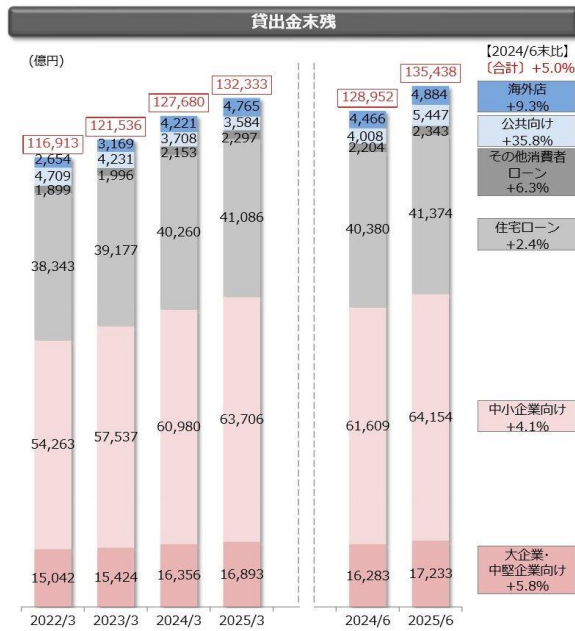
Copyright © 2025 The Chiba Bank, Ltd. All Rights Reserved.

国際業務部門 貸出金平残・利回り



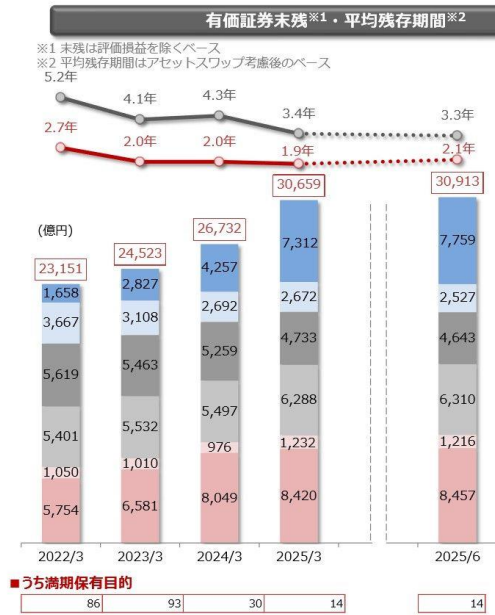
【参考】為替レート (月末TTM)

1ドル	122.39円	133.53円	151.41円	149.52円	161.07円	144.81円
-----	---------	---------	---------	---------	---------	---------



Copyright © 2025 The Chiba Bank, Ltd. All Rights Reserved.

7 ページをご覧ください。貸出金は、エリア別で見ますと、千葉県外が残高の伸びを牽引しています。右下の預金は前年同期比で 1.7%、約 2,800 億円増加しています。



【2025/3末比】

円債
平均残存期間
△0.0年

外債
平均残存期間
0.1年

〔合計〕+0.8%

国債
+6.1%

地方債
△5.4%

社債等
△1.9%

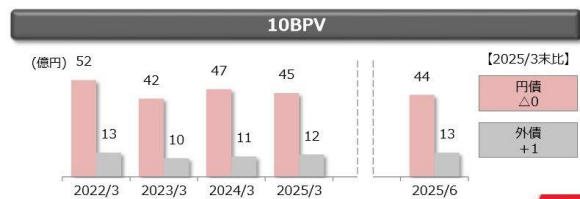
投信等
+0.3%

株式
△1.2%

外貨建有価証券
+0.4%

有価証券関連損益

(億円)	2025/3 1Q	2026/3 1Q	前年同期比
有価証券利息	218	228	9
債券	95	107	11
国内業務部門	15	27	11
国際業務部門	80	80	0
株式	81	79	△2
投信等	41	41	0
うち投信解約損益	10	8	△2
国債等債券損益	△9	△31	△22
うち売却益	0	1	1
うち売却損 (△)	3	27	23
うち償却 (△)	6	5	△0
株式等関係損益	51	54	3
うち売却益	55	55	0
うち売却損 (△)	4	0	△4
うち償却 (△)	0	1	1

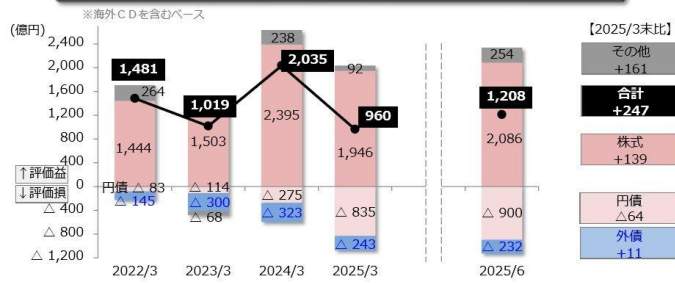


Copyright © 2025 The Chiba Bank, Ltd. All Rights Reserved.

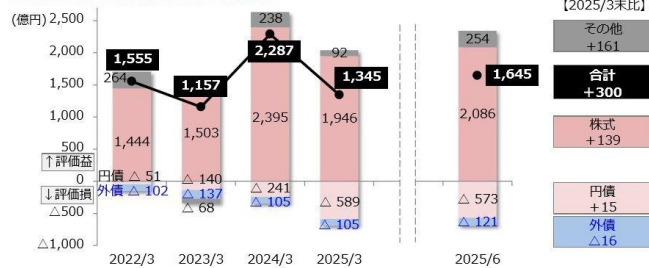
8

8 ページをご覧ください。有価証券は引き続きリスクを抑制した運用を行っており、円債の平均残存期間はやや低下しました。円債のオペレーションについては後ほど補足させていただきます。

その他有価証券評価損益



■繰延ヘッジスワップ評価損益勘案後



連結純資産に占める政策保有株式



政策保有株式・保有銘柄数



純投資株式の保有状況

	2025/3	2025/6	2025/3比増減
時価 (億円)	1,181	1,162	△18
簿価 (億円)	337	322	△14
銘柄数	23	22	△1

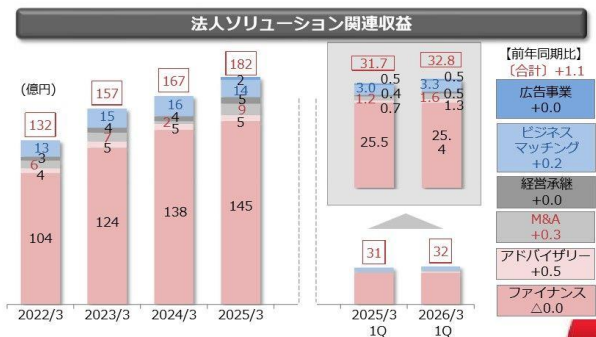
Copyright © 2025 The Chiba Bank, Ltd. All Rights Reserved.

9 ページをご覧ください。その他有価証券の評価損益は、ヘッジ勘案後で約 1,645 億円と、引き続き大きくプラスを維持しております。

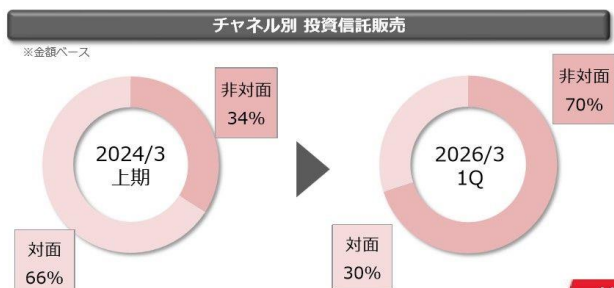
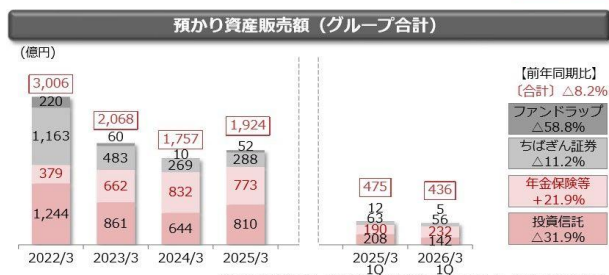
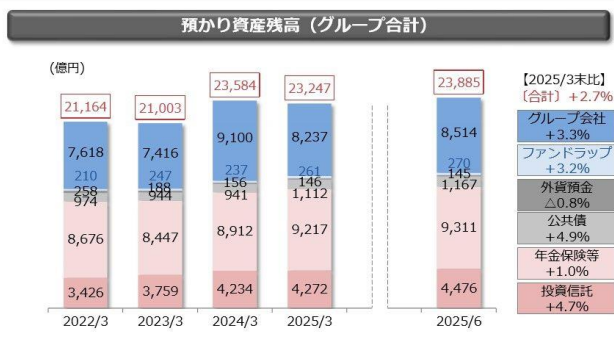
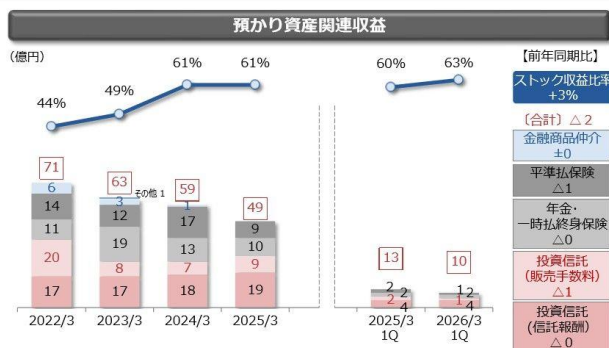
(億円)	2025/3 1Q	2026/3 1Q	前年同期比
役務取引等利益	72	68	△ 4
役務取引等収益	126	132	5
役務取引等費用 (△)	54	64	9
<主な内訳>			
うち預かり資産関連	13	10	△ 2
うち投信手数料 (信託報酬)	4	4	△ 0
うち投信手数料 (販売手数料)	2	1	△ 1
うち年金・一時払終身保険手数料	2	2	△ 0
うち平準払保険手数料	2	1	△ 1
うち金融商品仲介手数料	-	-	-
うち法人ソリューション関連	31	32	1
うちファイナンス関連	25	25	△ 0
うちアドバイザー手数料	0	1	0
うちM&A手数料	1	1	0
うち経営承継アドバイザー手数料	0	0	0
うちビジネスマッチング手数料	3	3	0
うち広告事業手数料	0	0	0
うち消費者ローン関連	2	2	0
うち信託・相続関連	2	3	0
うちキャッシュレス関連	9	9	△ 0
うち為替関連	33	36	2
うちローン支払保険料・保証料 (△)	27	32	5

※ 2026/3月期より、法人ソリューション関連に広告事業を含む (過去に遡って変更)

Copyright © 2025 The Chiba Bank, Ltd. All Rights Reserved.



10 ページをご覧ください。役務取引等利益について、法人ソリューション関連収益の詳細を右下のグラフに記載しております。アドバイザー、M&A、ビジネスマッチングなどの非ファイナンス収益を中心に増加しております。全体ではローン支払保険料の増加や預かり資産関連収益の減少により、前年同期比 4 億円減少の 68 億円となりました。

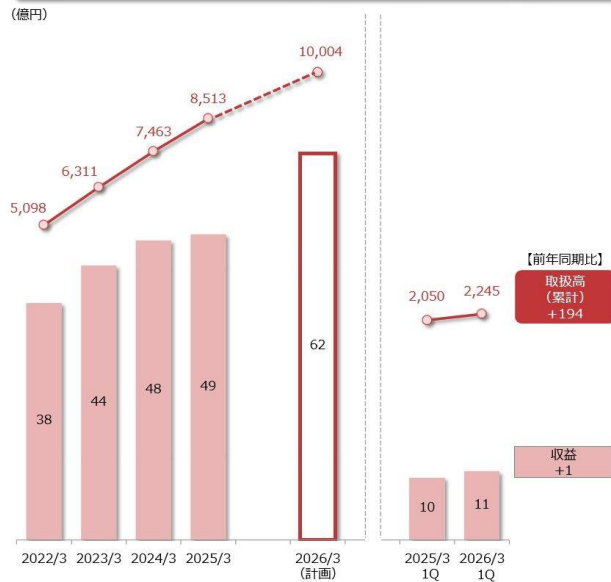


Copyright © 2025 The Chiba Bank, Ltd. All Rights Reserved.

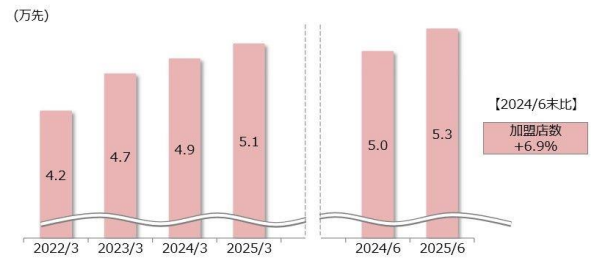
預かり資産関連につきまして、11 ページをご覧ください。預かり資産関連収益は、平準払保険の継続手数料の減少などにより、全体では前年同期比 2 億円の減少となりました。右下にありますように、投資信託販売金額の半分以上は、アプリや積立などの非対面チャネルへの移行が進んでおります。

当行の個人ビジネスにつきましては、預かり資産だけでなく、住宅ローン、キャッシュレス、相続信託、無担保ローンなど、あらゆる相談に対応する「個人の総合コンサルタント」を目指す方針としており、預かり資産を含む個人ビジネス全体での業務粗利益は、中計開始時点から約 44 億円増加しております。

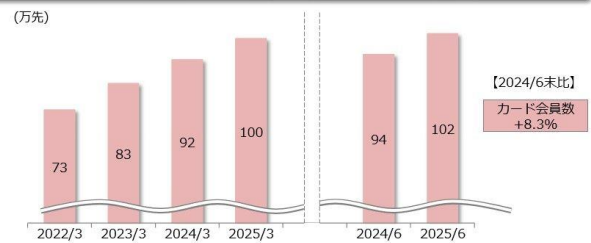
グループ キャッシュレス収益・取扱高



グループ 加盟店数



グループ カード会員数



Copyright © 2025 The Chiba Bank, Ltd. All Rights Reserved.

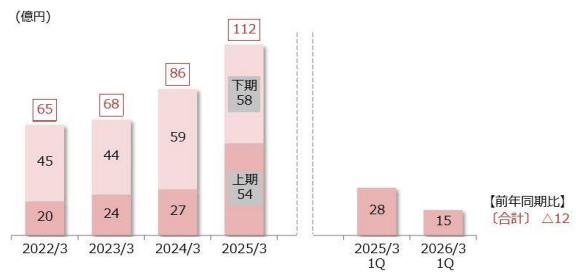
12

12 ページをご覧ください。キャッシュレス事業は、加盟店数や会員数が着実に増加しており、取扱高も拡大しています。地域エコシステム戦略を進めるため、引き続き顧客基盤を拡大してまいります。

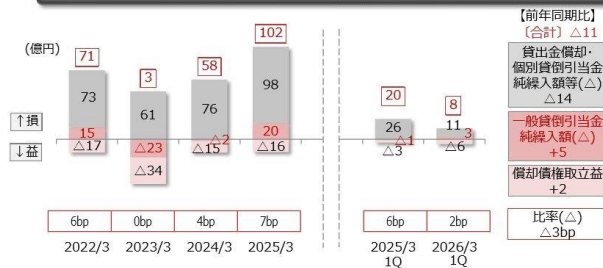
与信関係費用

	2025/3 1Q	2026/3 1Q	前年同期比
与信関係費用 (△)	20	8	△ 11
一般貸倒引当金純繰入額 (△)	△ 1	3	5
不良債権処理額 (△)	22	4	△ 17
貸出金償却・個別貸倒引当金純繰入額等 (△)	26	11	△ 14
うち個別貸倒引当金純繰入額 (△)	5	△ 1	△ 6
うち新規発生 (△)	28	15	△ 12
うち概先 (△)	1	1	△ 0
うち回収等	3	5	2
償却債権取立益	3	6	2
与信費用比率 (△)	6bp	2bp	△ 3bp

不良債権 新規発生



与信関係費用(△) 推移



金融再生法開示債権・不良債権比率



Copyright © 2025 The Chiba Bank, Ltd. All Rights Reserved.

13

13 ページをご覧ください。与信関係費用は、新規発生が低位であったことから、前年同期に比べて 11 億円の減少となりました。不良債権比率は 0.86% に低下し、地銀トップレベルの健全性を維持しております。

トランプ関税の影響に関しましても、当行の貸出先で影響を大きく受ける先は非常に少なく、現時点で特段の懸念はございません。

経費・OHR

単体	2025/3 1Q	2026/3 1Q	前年同期比
経費	223	245	21
人件費	104	117	13
物件費	101	109	8
税金	18	19	0
OHR	42.91%	43.74%	0.82%

連結

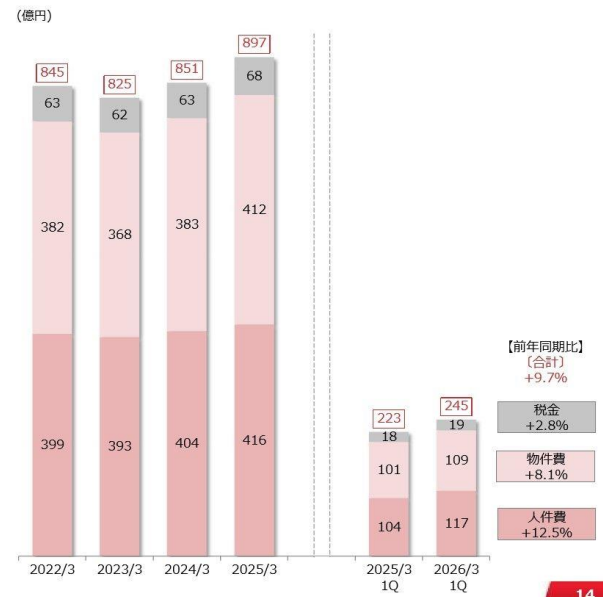
OHR	45.35%	45.65%	0.29%
-----	--------	--------	-------

※ OHR：経費÷（業務純益－債券関係損益等＋一般貸倒引当金純繰入額＋経費）

OHR推移

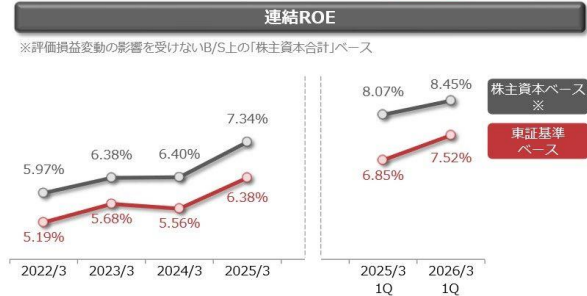
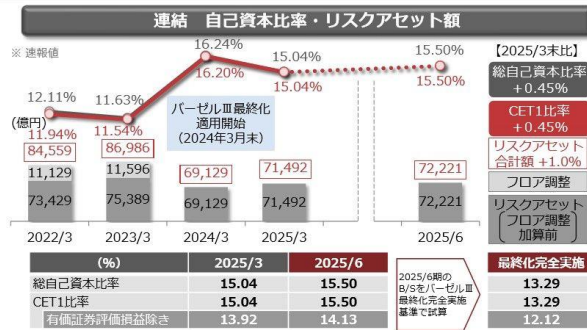


単体 経費推移



Copyright © 2025 The Chiba Bank, Ltd. All Rights Reserved.

14 ページをご覧ください。経費は 21 億円増加の 245 億円となりました。年度では、前期比で 42 億円増加する計画であり、投資・経費規律を徹底させながら、人的資本投資や戦略的システム投資などの投資を行ってまいります。

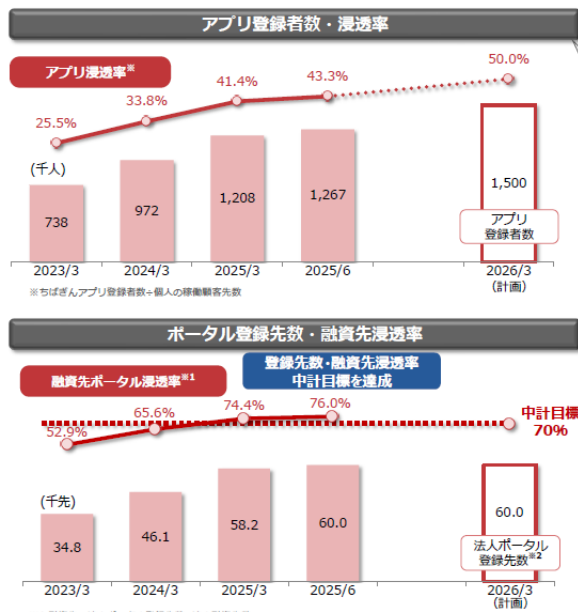


Copyright © 2025 The Chiba Bank, Ltd. All Rights Reserved.



15

15 ページをご覧ください。ROE は、四半期決算の暫定的な水準ではありますが、東証基準で前年同期比約 0.67 ポイント上昇と着実に改善しております。CET1 比率は、バーゼルⅢ最終化完全実施ベースの水準で試算いたしますと 12.12%となります。



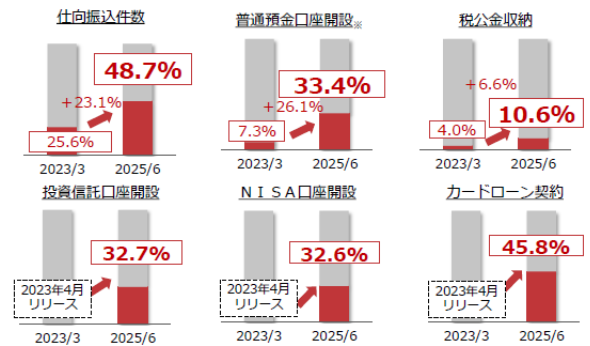
■利用状況/評価



■アクティブ率 (MAU率) **77.6%**
月1回以上アプリを起動したユーザー数
÷ 月末時点のアプリ登録者数
(2025年6月現在)

■ストア評価
App store **★4.6/5**
Google play **★4.4/5**
(2025年6月末現在)

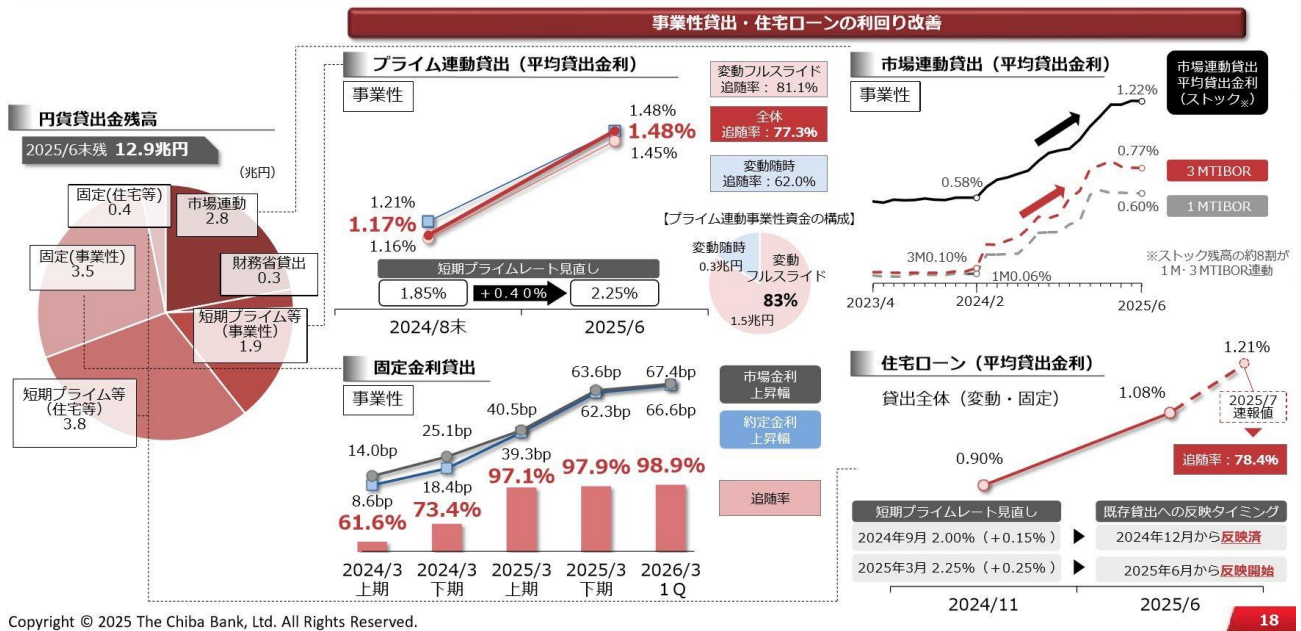
■トランザクションの変化 (月次比較)



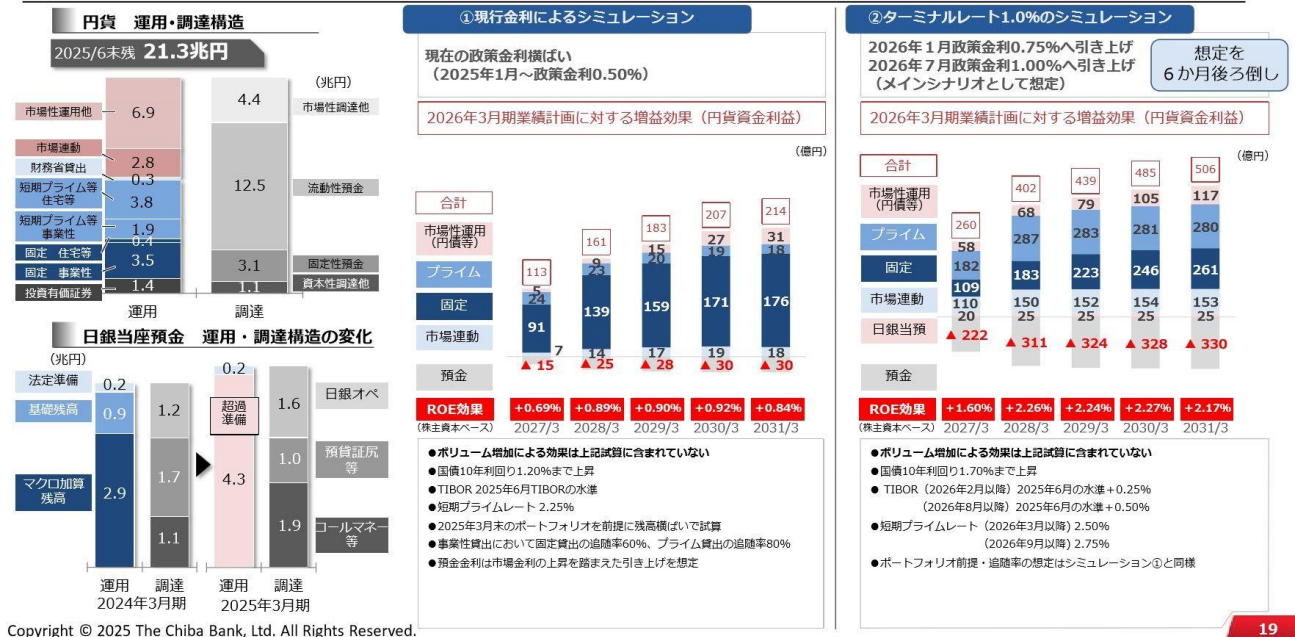
補足資料



引き続き政策金利の引き上げに対し、高い追従率で貸出金利回りは上昇

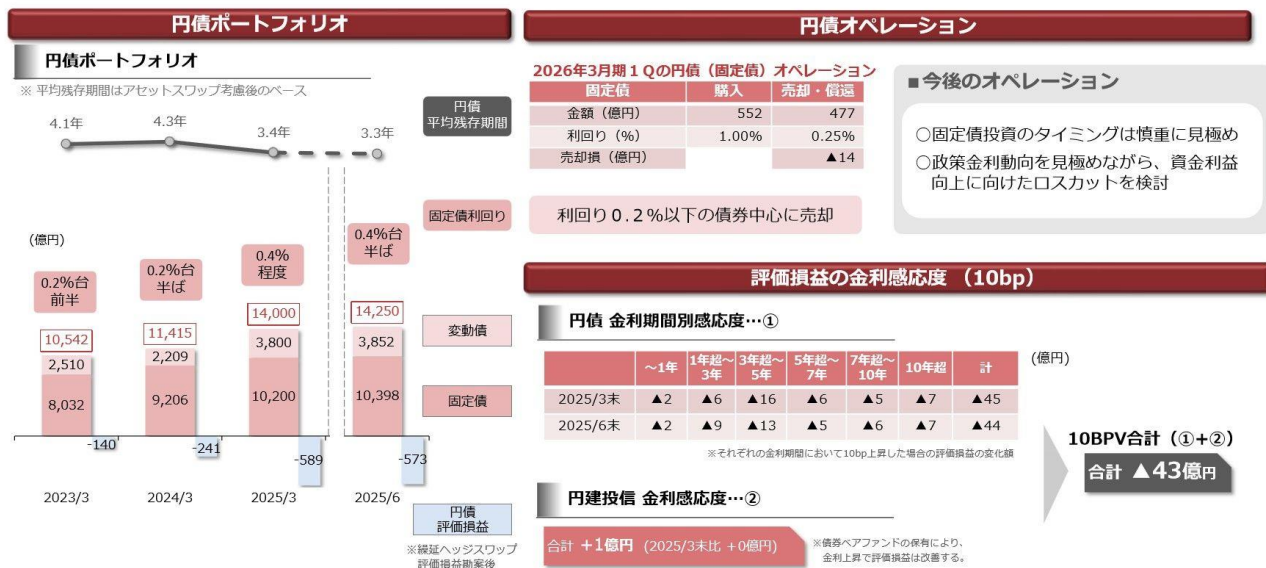


日銀の政策金利変更に伴う利上げ効果を試算（メインシナリオを変更）



19 ページをご覧ください。金利上昇影響のシミュレーションとして、今年度の資金利益計画に対する増益効果を試算しております。右側のシミュレーションについて、メインシナリオにおける利上げ時期を今年7月、来年1月としていましたが、6か月後ろ倒し、来年1月、来年7月の2回の利上げ、ターミナルレート1.0%とするシミュレーションに変更しております。なお、このシミュレーションには今後のポリウム増加効果は含めておりません。

金利リスク抑制的な運用を継続。資金利益改善に向け計画通り低利回り債のロスカットを実施



Copyright © 2025 The Chiba Bank, Ltd. All Rights Reserved.

20

20 ページをご覧ください。円債のオペレーションについてです。今後の金利上昇見通しを踏まえ、低利回り債の売却を進め、固定債利回りの向上・資金利益の改善を図っております。期初計画では30億円のロスカットを想定しており、1Qで利回り0.2%以下の債券を中心に売却し、14億円の売却損を計上し、ポートフォリオの改善を図っております。

説明は以上です。

本資料に関するご意見、ご感想、お問い合わせは
下記 I R 担当までお願いいたします。

株式会社 千葉銀行経営企画部（I R 担当）

Tel : 043-301-8459
E-Mail: ir@chibabank.co.jp

本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。
本資料に記載された事項の全部又は一部は予告なく修正又は変更されることがあります。本資料には、将来の業績にかかる記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により異なる可能性があることにご留意ください。